



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 篠崎屋

上場取引所 東

コード番号 2926 URL <http://www.shinozakiya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼IR室長

(氏名) 沼寄 昭宏

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	3,562	△3.8	140	8.6	140	6.5	112	5.4
24年9月期第3四半期	3,703	△10.6	129	107.3	132	110.5	106	160.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	779.17	—
24年9月期第3四半期	739.23	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	2,043	1,232	60.3
24年9月期	1,844	1,120	60.7

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 1,232百万円 24年9月期 1,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—		
25年9月期(予想)				200.00	200.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
業績予想の策定に伴い、その内容等を勘案し配当予想を決定いたしました。

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,510	△4.1	111	39.7	110	23.0	79	—	551.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、予想値を策定いたしましたので、公表することといたしました。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	144,366 株	24年9月期	144,366 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	— 株	24年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	144,366 株	24年9月期3Q	144,366 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の売上高は3,562,742千円(前年同四半期比3.8%減)、営業利益は140,926千円(前年同四半期比8.6%増)、経常利益は140,989千円(前年同四半期比6.5%増)、四半期純利益は112,486千円(前年同四半期比5.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当社は、基幹事業である小売事業の基盤を確立するために直営店舗を中心に「豆腐の工場直売所」から「大豆加工食品の専門店」へと三代目茂蔵のブランド力を高めることにより経営基盤の強化を推し進めております。

店舗においては、第1四半期会計期間に行ったカテゴリーを明確にした売り場づくりの結果を踏まえ、鮮度感の高い惣菜系、デザート・菓子系を強化することで顧客のリピート率が高まり売上増加が見込めるとの仮説に基づき、「素材屋から惣菜屋へ」をテーマとした売り場づくりを引き続きすすめております。また、商品開発につきましては、前期より本格的に始動した豆腐版SPAにより、変化の早い顧客ニーズに対応した様々なカテゴリーの商品の企画・開発・販売に努め、米飯では「ゴータチーズと漬物3種の太巻き」「甘煮しいたけの太巻き」、和菓子では「ジャンボ絹ごし柏餅」「絹ごし葛まんじゅう」「餡入り甘辛だんご」等の新商品を投入し、売上に貢献しました。また、スピーディーな商品企画・開発を行うため、自社のテストキッチンを最大限に活用するためのノウハウの構築に取り組んでおります。この結果、第3四半期会計期間については、1店舗平均の売上高は、前年同四半期比109.9%、1店舗平均の顧客数については、前年同四半期比105.5%となりました。

出店につきましては、店舗ブランド向上を優先し既存店舗のリニューアルを中心にを行い、2店舗を出店し4店舗を退店しました。

以上の結果、小売事業の売上高は3,098,292千円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益(営業利益)は218,126千円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は464,450千円(前年同四半期比12.9%減)、セグメント利益(営業利益)は58,392千円(前年同四半期比23.0%減)となりました。

なお、当第3四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第3四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	63	2	4	61
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	106	5	18	93
合計		169	7	22	154

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して199,240千円増加し2,043,652千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加267,211千円、商品及び製品の増加16,406千円及び有形固定資産の減少36,645千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して86,754千円増加し810,825千円となりました。主な要因は、買掛金の増加169,486千円、リース債務の減少38,723千円及び未払金の減少18,395千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して112,486千円増加し1,232,826千円となりました。これは四半期純利益の計上112,486千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による影響が大きく、予測が困難なため通期業績予想の開示は行っておりませんでした。現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしました。

当第3四半期累計期間の直営既存店における売上高は前年同四半期比で98.9%となりました。第4四半期会計期間の直営既存店の売上高につきましては、この結果を踏まえて天候等の外部変動要因による影響は前年並みとの予測のもと、前年同四半期の実績に対し98.9%を前提に策定いたしました。

営業費用につきましては、当期実績を前提に第4四半期会計期間分を見積もり、利益予想を策定いたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	327,408	594,619
売掛金	140,992	144,608
商品及び製品	30,634	47,040
原材料及び貯蔵品	835	1,843
その他	85,494	74,493
貸倒引当金	△470	△385
流動資産合計	584,895	862,220
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	190,716	169,124
構築物(純額)	18,008	16,063
機械及び装置(純額)	115	576
工具、器具及び備品(純額)	40,963	27,941
土地	633,548	633,548
その他(純額)	1,720	1,172
有形固定資産合計	885,072	848,426
無形固定資産	4,196	3,342
投資その他の資産		
敷金及び保証金	202,340	194,750
その他	169,236	135,272
貸倒引当金	△1,329	△361
投資その他の資産合計	370,247	329,662
固定資産合計	1,259,516	1,181,431
資産合計	1,844,411	2,043,652

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	391,950	561,436
リース債務	48,266	28,627
未払金	123,492	105,096
未払費用	47,211	46,167
未払法人税等	30,560	25,228
債務保証損失引当金	32,550	28,550
株主優待引当金	18,500	—
その他	5,491	8,753
流動負債合計	698,021	803,860
固定負債		
リース債務	19,085	—
その他	6,965	6,965
固定負債合計	26,050	6,965
負債合計	724,071	810,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,715,805	1,000,000
資本剰余金	2,616,490	120,340
利益剰余金	△4,211,954	112,486
株主資本合計	1,120,340	1,232,826
純資産合計	1,120,340	1,232,826
負債純資産合計	1,844,411	2,043,652

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,703,437	3,562,742
売上原価	2,314,277	2,241,919
売上総利益	1,389,159	1,320,822
販売費及び一般管理費	1,259,418	1,179,896
営業利益	129,740	140,926
営業外収益		
受取利息	3,152	2,131
為替差益	112	9
受取保険金	1,648	1,371
その他	2,699	1,179
営業外収益合計	7,613	4,691
営業外費用		
租税公課	3,929	3,480
その他	1,047	1,147
営業外費用合計	4,976	4,628
経常利益	132,377	140,989
特別利益		
固定資産売却益	535	54
債務保証損失引当金戻入額	—	4,000
特別利益合計	535	4,054
特別損失		
固定資産売却損	—	363
固定資産除却損	107	3,176
投資有価証券評価損	205	—
店舗閉鎖損失	8,800	1,953
特別損失合計	9,113	5,493
税引前四半期純利益	123,799	139,550
法人税、住民税及び事業税	17,079	27,064
法人税等合計	17,079	27,064
四半期純利益	106,720	112,486

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,170,115	533,321	3,703,437	-	3,703,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,170,115	533,321	3,703,437	-	3,703,437
セグメント利益	223,733	75,844	299,578	△169,837	129,740

(注) 1. セグメント損益の調整額△169,837千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,098,292	464,450	3,562,742	-	3,562,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,098,292	464,450	3,562,742	-	3,562,742
セグメント利益	218,126	58,392	276,519	△135,592	140,926

(注) 1. セグメント損益の調整額△135,592千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。